

陳 情 文 書 表

|                                |                                           |
|--------------------------------|-------------------------------------------|
| 受 理 番 号 ・ 受 理<br>年 月 日 及 び 件 名 | 陳情第137号（7. 8. 26）<br>王子公園再整備計画の見直しを求める陳情  |
| 陳 情 の 要 旨                      | 1. 王子公園再整備計画を、目先の経済効果にとらわれずに長期的な視点で見直すこと。 |
| 陳 情 者 の 住 所<br>及 び 氏 名         | 神戸市灘区<br>柳 澤 由美子                          |
| 送 付 委 員 会                      | 建設防災委員会                                   |

【陳情者】

神戸市灘区

柳澤 由美子



まだ遅くはない！『王子公園再整備計画』の見直しを求める陳情

【陳情趣旨】

『王子公園再整備計画』は、王子公園 19.2 ㌥のうち、3.5 ㌥（約 2 割）を大学に売却し、残りを公園としてリニューアルしようとするものです。

この計画の問題点として、まず、今現在、神戸市には 18 の大学と 4 つの短期大学、一つの高等専門学校が存在し（2023 年 10 月時点）、その数は、東京都、京都市、名古屋市等に比べても遜色ないと言えるでしょう。神戸市に、大学が少ないのであれば、その社会的意義は良く分かりますが、この数字を見ても、王子公園内に大学を誘致する社会的意義はなく、必要性もないと考えます。

また、神戸市は、「大学誘致により、若者が来て活性化できる」と言われていますが、本当にそうでしょうか。大学生の本分は、“学び”です。勉強して自らの生きる道を見つけ、社会に巣立っていく・・・その手助けをするのが、大学の使命です。その彼らにまちの活性化を期待するのは本末転倒です。

また、大学誘致をした時の経済効果についてです。令和 5 年『市内立地大学等が神戸市に及ぼす経済波及効果分析報告書』によりますと、4000 人規模の大学を誘致した場合、①直接効果（教育研究活動、教職員、学生の消費等）74 億円 ② 総合効果 116 億円（直接効果、間接効果—消費増加により新たに誘発された生産）とあります。確かにある程度の経済効果はあるでしょうが、長期的な視点で考える必要があります。

今年は、戦後 80 年です。戦後の混乱の中で、潰れかけていた公園を守るために『都市公園法』という法律ができました。『都市公園法』は、「・・・都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする」と記されています。自然豊かな王子公園に、老若男女が集い、憩う場を持つことにより、市民が心豊かに健康を維持できれば、医療費の低減にもつながります。又、楽しい場所には、必ずリピートします。そうなることによって、ここに経済効果が生まれてきます。それこそが、真の活性化に繋がるものと考えます。

【陳情事項】

1、『王子公園再整備計画』を 目先の経済効果にとらわれずに長期的な視点で見直していただきたい。